

オンライン授業の課題とその解決策 ～WITHコロナ時代の新しいコミュニケーション～

高野 玲菜

【要旨】

2020年に入り新型コロナウイルスが流行し、大学でオンライン授業が急速に普及したことにより、学生同士や教員との交流の機会が減っている。こうした現状を受け、本稿ではオンライン授業で起こる問題点を模索するべく、オンライン授業の実態調査を行った結果、オンライン上ではコミュニケーションが取りにくいという問題が浮き彫りとなった。またコミュニケーションを取る機会が多いグループワークの授業に関するアンケート調査を実施した結果、オンライン上のグループワークが困難であることが明らかとなった。

そこでその問題点を解決するために本研究では、「加工カメラを利用したコミュニケーション」の方法と、「アバターを利用したコミュニケーション」の方法を提案しその検証を行った。これらの検証をもとにどちらがオンライン上のグループワークに適しているのかを分析し、オンライン上でコミュニケーションを円滑にとるための最善策について考察を行った。

【講評】

着眼点が良い。コロナ禍で学修意欲の低下が心配されるなか、学生がみずから積極的にオンライン授業を研究対象にとりあげ、その課題と解決策を実証的に析出しようとした姿勢に拍手を送りたい。とくに、ゼミ内で実際にオンライン上のグループワークを行い、アバターを使った場合にゼミ生たちの反応がどのように出るか、アンケートをとって分析した努力は高く評価できる。

今後、各章の位置づけの明確化、引用記事の信頼性の確認、こまめな注記、調査方法と統計処理に関する説明の工夫、表記・形式の統一などを心がければ、一層精度の高い成果となることが期待される。実践に生かしたい労作といえる。